



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月28日 東

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 柴山 恒晴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 安西 史朗 (TEL) 06-6571-1221
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	7,662	4.1	969	29.0	938	34.3	591	123.5
27年3月期第3四半期	7,359	2.5	751	18.9	699	21.0	264	23.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 709百万円(28.6%) 27年3月期第3四半期 551百万円(87.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	37.27	37.22
27年3月期第3四半期	16.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,722	10,426	50.3
27年3月期	19,967	9,802	49.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 10,417百万円 27年3月期 9,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	2.5	1,180	7.9	1,130	12.0	670	62.7	42.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	15,955,010株	27年3月期	15,919,010株
28年3月期3Q	69,878株	27年3月期	66,885株
28年3月期3Q	15,871,253株	27年3月期3Q	15,840,212株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済、金融政策により企業収益や雇用環境の改善がみられましたが、円安の進行による個人消費の伸び悩みや中国をはじめ新興国の経済減速のリスク懸念により、先行きに不透明感が強まる状況で推移しております。

倉庫物流業界においては、一部荷動きに若干の回復基調がみられるようになったものの、荷主の強力な合理化要請などによる企業間競争が激化しており、引き続き厳しい事業環境が続いております。

このような情勢のもと、当社グループにおいては顧客満足度の向上と業務のより一層の効率化を図るため、事業活動の核となる倉庫設備の整備を進めるとともに、積極的な営業活動を展開いたしました。大阪市港区の当社大阪港営業所における新倉庫の建替え工事は順調に進んでおり、平成28年7月の竣工予定となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は、76億6千2百万円となり、前年同四半期に比べ3億3百万円(4.1%)の増収となりました。営業原価は61億8千7百万円となり、前年同四半期に比べ1億8千8百万円(3.1%)増加しましたが、販売費及び一般管理費は5億5百万円となり、前年同四半期に比べ1億千3百万円(16.9%)減少しました。この結果、営業利益は9億6千9百万円となり、前年同四半期に比べ2億1千8百万円(29.0%)の増益となりました。営業外収益・費用では受取配当金が増加し、支払利息や持分法による投資損失等が減少しましたので、経常利益は9億3千8百万円となって、前年同四半期に比べ2億3千9百万円(34.3%)の増益となりました。

また、倉庫の改修工事に係る固定資産処分損やゴルフ会員権の売却損、またゴルフ会員権の評価損を特別損失に計上しましたが、四半期純利益は5億9千1百万円となり、前年同四半期に比べ3億2千6百万円(123.5%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(物流事業)

当第3四半期連結累計期間は新倉庫の建替え工事の影響などで、米や紙製品などの取扱が前年同四半期に比べ減少し、保管料収入が減少しました。しかし、電気製品や食料品の取扱、オフィス移転作業やリネンサプライの配送等の取扱が堅調に推移し、荷役荷捌料収入や運送料収入が増加しました。この結果、外部顧客に対する営業収益は64億7千3百万円となり、前年同四半期に比べ2億4千万円(3.9%)の増収となりました。費用面では減価償却費や修繕費、租税公課等が減少しましたので、セグメント利益は4億6千4百万円となり、前年同四半期に比べ1億1千3百万円(32.2%)の増益となりました。

(不動産事業)

一部の賃貸物件の契約解除の影響等による減収要因もありましたが、昨年8月には大阪市港区の賃貸物件が竣工し、業績に寄与しました。外部顧客に対する営業収益は9億7千9百万円となり、前年同四半期に比べ5千8百万円(6.3%)の増収となりました。費用面では修繕費等が増加しましたが、セグメント利益は7億8千4百万円となり、前年同四半期に比べ4千5百万円(6.2%)の増益となりました。

(その他の事業)

ゴルフ練習場は入場者数が若干増加して営業収益が1億6千7百万円となりました。人件費や減価償却費等が減少し、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

売電事業は、営業収益が3千9百万円となり、減価償却費が減少したものの、前年同四半期に比べ減収減益となりました。

以上により、その他の事業の営業収益は2億9百万円となり、前年同四半期に比べ4百万円(2.3%)の増収となりました。セグメント利益は4千4百万円となり、前年同四半期に比べ1千1百万円(34.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億5千5百万円増加し、207億2千2百万円となりました。これは、流動資産のリース投資資産や有価証券、固定資産の投資有価証券などが増加したことなどによります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億3千1百万円増加し、102億9千6百万円となりました。これは、流動負債の未払法人税等や固定負債の長期借入金が増加したことなどによります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億2千3百万円増加し、104億2千6百万円となりました。これは、株主資本の利益剰余金が4億9千6百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年10月15日に公表した業績予想に変更はありません。今後何らかの変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,317	1,573,512
受取手形及び売掛金	1,135,679	951,253
リース投資資産(純額)	1,607,032	2,387,968
有価証券	712,441	809,782
繰延税金資産	52,432	32,468
未収消費税等	-	18,638
未収還付法人税等	25,000	-
その他	51,026	103,871
貸倒引当金	△4,017	△4,053
流動資産合計	5,186,914	5,873,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,464,631	5,266,734
機械装置及び運搬具(純額)	523,854	519,536
工具、器具及び備品(純額)	85,630	101,401
土地	4,821,971	4,821,971
リース資産(純額)	9,368	39,602
建設仮勘定	286,400	372,039
有形固定資産合計	11,191,856	11,121,286
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	34,156	30,472
無形固定資産合計	329,446	325,762
投資その他の資産		
投資有価証券	2,890,117	3,052,903
繰延税金資産	78,943	80,968
その他	311,928	289,965
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	3,259,603	3,402,449
固定資産合計	14,780,907	14,849,498
資産合計	19,967,821	20,722,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	397,455	302,857
1年内償還予定の社債	-	200,000
1年内返済予定の長期借入金	1,363,392	1,389,050
未払金	208,604	59,062
リース債務	3,751	9,486
未払法人税等	64,466	225,148
未払消費税等	226,806	40,685
繰延税金負債	-	6,792
賞与引当金	155,657	80,719
未払費用	205,845	258,124
その他	121,494	143,878
流動負債合計	2,747,474	2,715,806
固定負債		
社債	200,000	-
長期借入金	5,777,180	6,066,756
長期預り金	242,862	242,862
リース債務	6,446	33,273
繰延税金負債	410,201	454,540
役員退職慰労引当金	118,836	104,484
退職給付に係る負債	629,077	645,689
資産除去債務	32,860	33,174
固定負債合計	7,417,465	7,580,780
負債合計	10,164,939	10,296,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,546,267	2,551,755
資本剰余金	2,321,217	2,326,703
利益剰余金	3,884,227	4,380,447
自己株式	△17,815	△18,710
株主資本合計	8,733,897	9,240,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,076,713	1,191,711
退職給付に係る調整累計額	△17,112	△14,468
その他の包括利益累計額合計	1,059,600	1,177,243
新株予約権	9,384	8,916
純資産合計	9,802,882	10,426,354
負債純資産合計	19,967,821	20,722,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業収益	7,359,170	7,662,404
営業原価	5,999,231	6,187,279
営業総利益	1,359,939	1,475,125
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	340,441	292,398
その他	268,233	213,264
販売費及び一般管理費合計	608,675	505,663
営業利益	751,264	969,462
営業外収益		
受取利息	616	1,713
受取配当金	37,868	41,704
社宅使用料	16,687	17,007
その他	15,886	24,425
営業外収益合計	71,059	84,850
営業外費用		
支払利息	92,531	79,465
持分法による投資損失	15,540	10,761
その他	15,008	25,207
営業外費用合計	123,081	115,434
経常利益	699,243	938,877
特別利益		
新株予約権戻入益	1,860	3,180
特別利益合計	1,860	3,180
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	-	2,570
ゴルフ会員権評価損	-	6,650
固定資産処分損	26,834	39,545
減損損失	403,144	-
特別損失合計	429,979	48,765
税金等調整前四半期純利益	271,123	893,292
法人税、住民税及び事業税	133,000	290,606
法人税等調整額	△126,486	11,225
法人税等合計	6,513	301,832
四半期純利益	264,610	591,460
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,610	591,460

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	264,610	591,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	283,644	115,025
退職給付に係る調整額	3,413	2,643
持分法適用会社に対する持分相当額	△126	△26
その他の包括利益合計	286,931	117,642
四半期包括利益	551,541	709,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551,541	709,102
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	6,233,298	921,547	204,324	7,359,170	—	7,359,170
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	22,680	127,652	32,400	182,732	△182,732	—
計	6,255,978	1,049,200	236,724	7,541,903	△182,732	7,359,170
セグメント利益	351,538	738,505	33,372	1,123,416	△372,151	751,264

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額372,151千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
外部顧客に対する営業 収益	6,473,631	979,737	209,035	7,662,404	—	7,662,404
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	22,680	127,652	32,400	182,732	△182,732	—
計	6,496,311	1,107,390	241,435	7,845,137	△182,732	7,662,404
セグメント利益	464,814	784,250	44,736	1,293,800	△324,338	969,462

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額324,338千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。